

第3回 文化遺産防災シンポジウム

文化遺産の防災

—ものと技術の防災をめぐって—

[日時] 2007年12月22日(土)
13時00分～17時00分

[場所] 立命館大学 衣笠キャンパス
創思館カンファレンスルーム
駐車場がございませんので公共交通機関をご利用ください。

[主催] 立命館大学 歴史都市防災研究センター

入場
無料

Program

13時00分～13時15分

開会の辞

土岐 憲三

(立命館大学 歴史都市防災研究センター センター長)

13時15分～13時45分

「冷泉家住宅の防災 —平成大修理をめぐって—」

立命館大学 COE推進機構 特別招聘教授 冷泉 為人

13時50分～14時20分

「文化財の防災 —デジタルアーカイブの虚実—」

立命館大学 文学部 教授 赤間 亮

14時25分～14時55分

「大規模自然災害時の
歴史資料の保全と復興過程におけるその活用」

神戸大学大学院 人文学研究科 教授 奥村 弘

14時55分～15時10分

休憩

15時10分～15時40分

「無形民俗文化財と自然災害」

立命館大学 文学部 教授 真下 厚

15時45分～16時15分

「動産文化財の防災について —最近の課題—」

京都造形芸術大学 歴史遺産学科 教授 内田 俊秀

16時20分～16時50分

「文化遺産の保護と防災の歩み」

立命館大学 COE推進機構 特別招聘教授 益田 兼房

16時50分～17時00分

閉会の辞

吉越 昭久

(立命館大学 歴史都市防災研究センター 副センター長)

お問い合わせ先

立命館大学 人文社会リサーチオフィス内 歴史都市防災研究センター事務局(担当: 仲山・大下)
Tel: 075-465-8206 Fax: 075-465-8245

このシンポジウムは、本センターが文部科学省より採択を受けた以下の補助事業について、研究成果の公表を行うものです。
学術フロンティア推進事業「文化遺産と芸術作品を自然災害から防御するための学理の構築」

立命館大学 文化遺産を核とした歴史都市の防災研究プロジェクト

ハイテク・リサーチセンター整備事業「防災と安全のための複合大規模センサシステムおよびロバストネットワークの構築」